

筑北村まち・ひと・しごと創生総合戦略～木質バイオマス循環自立創生～事業計画書

事業名

「農林福協働体 ○(わっこ)ちくほく」プロジェクト(案)

実施主体

筑北村社会福祉協議会

※筑北村からの業務委託事業

目的/コンセプト

- 筑北地域の森林資源を有効活用することで地域防災力、エネルギー自給率を高める。
- 筑北地域の雇用を創出し、障害者雇用を同時に進める。
- (農人材派遣および「御用聞きサービス」を同時展開することで地域の「人材力」を高める。)

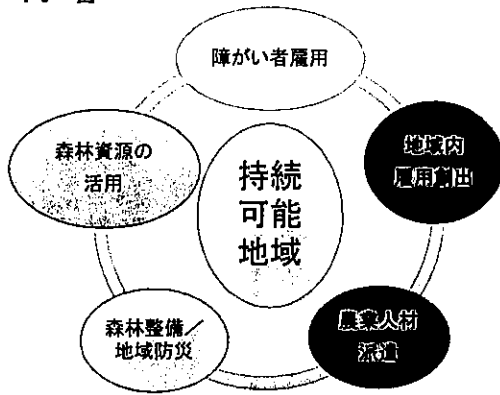
【コンセプト】

イメージ



- ① エネルギーが地域内を循環するイメージ「わっこ」
- ② 地域の自然を中心に人がつながる、助け合う「わっこ」
- ③ 「木」の年輪をあらわす「わっこ」
- ④ 「中心に農」のシンボル「わっこ」

内容



1. 森林整備/地域防災
 - ・ 適切な間伐、地滑りの防止、次世代へつなぐ林業形態の構築
2. 木質バイオマスの利用
 - ・ 公共施設等への薪暖房導入、薪の販売・配達
3. 雇用創出
 - ・ 事業体に携わる次世代人材育成/雇用創出
4. 障がい者雇用
 - ・ 就労継続支援A型(雇用契約締結型)事業と連動
5. 農業人材派遣
 - ・ 地域の「手間」を担い、「ほしい人手」を創出

事業の方向性

- ◎筑北村、近隣市町村や民間事業者の協力のもと下記内容を目指していきたいと考えています。
 - 「地域のエネルギー自給率30%～50%を目指す(暖房、温水利用)」
 - 「土砂災害から地域を守る森林の整備」
 - 「障がい者、健常者に関わらず、地域に必要な仕事を出来る人が行っていく仕組みの創出」

- 安曇野市、上田市を中心とした薪販売ネットワークの確立(ex:山風舎等)
- 障がい者雇用に積極的な林業事業者との協働(ex:柳澤林業等)
- 地域林業関係者との積極的関係構築と協働体制の確保(筑北村紹介事業者)
- 公共施設(公社、役場、社協等)への薪ボイラー、ストーブ等の設置(補助制度・助成金視野)
- 草刈り、清掃、雪かき、農繁時補助等地域ニーズに沿った人材派遣業務の充実
- 薪加工の他、きのこ原木、建材提供等の可能性も検討
- 森林整備を中心とした地方と都市を結ぶワークショップ等を開催

業務管理体制

- 筑北村社会福祉協議会で管理運営(将来的に別法人化検討)
- 雇用者、障がい者の安全を第一とする業務管理体制